教科
 工業(建築)
 科目
 建築実習

 単位数:
 3
 単位

 墨田工科高等学校
 令和7年度

 教科: 工業(建築)
 科目: 建築実習

 対象学年組:第 2 学年 5 組~
 組

教科担当者: 使用教科書: (自校作成資料

教科 工業(建築) の目標: 【知 識 及 び 技 能 】 基礎的な知識と技術を身につけ、工業の発展と環境・資源などとの調和のとれたありかたを理解させる。

【思考力、判断力、表現力等】 建築に関する諸問題の適切な解決を目指し、広い視野からみずから考える能力を身につける。 【学びに向かう力、人間性等】 建築に興味・関心を持ち、その改善向上をめざして意欲的に取り組む姿勢を構築する。

科目 建築実習

の目標: 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
	Table 1.07 Section	導動業1.英智 ・ なと教育機能な事体 ・ ないでは、アクラットを開始な事体 ・ 教養組立・型枠組立解体	■ 大阪教徒の経営 ・ 大阪教徒の経営・企業が、定者の本政権は、開発で開始は、内側的は関すできる即を利用される。 ・ はちた、特別、内側の関係を含んだった。更はりままれるであり、特別は、設定は自己などを含まった。 ・ 他のは、日本の大阪教徒のは、日本の大阪教徒の学生のなどのは、日本の大阪教徒のは、日本の大阪教徒の ・ 中国大阪教徒のは、日本の大阪教徒の大阪教徒の主義を表現している。 ・ 日本の大阪教徒の主義を表現している。 ・ 日本の大阪教徒の主義を表見を表見を表見を表見を表見を表見を表見を表見を表見を表	0	0	0	15
	■ ②財将英僧 日 (19世界 人) (20年) トラられた条件と推測に加いて、合理的な対策 日 (19世界 人) (20年) (②材料実習 ・骨材密度試験・骨材のふるいわけ・単位 容積重量・コンクリートの調合設計・セメントの機度試験・コンクリートの正確試験・鉄筋引張り試験・コンクリートの圧縮試験・鉄筋引張り試験・ 木材の圧縮・引張り試験	【知識及び状態】与えられた条件と環境において、合理的な計劃を計画し、実験装置の場合と発展を行い、得られたデータを選切に処理し、その成果を調・実に費す技能に関連の、「限力を関する。 に関連力、無断力、展力が関・減率材料に関する。 は関連力、制力を関する。 は関連力、対力が関立機能は、関連することができる。 を選択材料に関する基礎がな影響とついて、適のに関連・制御し、さまざまな条件や標準はおける計算が必要性と、関係することができる。 環境材料に関する基礎がな地域について関心を持ち、置故的に実験装置を活用して得られたデータより創創的、実践的な態度を身につけている。	0	0	0	12
	定期考査(なし)						
	型の作用を を表していません。 他のようなできません。これが間に成した哲学を見るくろんがからをしていました。 はなった。 はなな。 はなな。 はななな。 はなななななな。 はなななななななななな	③命形実習 建築バースの基礎・着色	「抽面及び世間」 報報・一への打印を書色を描して、安全や構成に記載した空間を実現させるための手 法を書につけ、受成で相談を作成する状態を考につけている。 報事・一への打印を書色を出して、安全や機能に起した空間を実現させるための手 品を書につけ、送成で程間を作成することによって、それぞれの最条件に返した空 工法的なごから、 工法的なごからない。 は、 工法的なごからない。 は、 工法的なごからない。 は、 工法的なごからない。 は、 ない、 に、 に、 に、 に、 に、 に、 に、 に、 に、 に	0	0	0	12
	定期考査(なし)						
2学期	THE ADMINISTRATION OF THE PROPERTY OF THE PROP	等後後上及行 ・本は新編組之体体 ・スクカント記号組組之解体 ・表施組立・型枠組立解体	■ 「本社の主要のよう」であり、企業の主義を、「大きの主要でする日本のようです。」 「日本の、日本の主義を、「大きの主義を、」」」 「大きの主義を、「大きの主義を、「大きの主義を、「大きの主義を、」」」 「「しきの主義を、「大きの主義を、「大きの主義を、「大きの主義を、」」」 「これるいる」 「しきんな、「しきんな、」」 「「しきんな、」」」 「「しきんな、」」」 「「しきんな、」」」 「「しきんな、」」」 「「しきんな、」」」 「「しきんな、」」」 「「しきんな、」」」 「しきんな、」」 「しきんな、」 「しきんな、」」 「しきんな、」 「しきんな、」」 「しきんな、」」 「しきんな、」」 「しきんな、」」 「しきんな、」 「しきん	0	0	0	12
	②からできまった。 「おおおいます」ないたかあり、日本において、力等のでがありません。 「おおまでからできまった。」 「おおまでは、またが、これできまった。」 「おおまでは、またが、これできまった。」 「おおまでは、またが、これできまった。」 「おおまでは、またが、これできまった。」 「おおまでは、またが、これできまった。」 「おおまでは、またが、これできまった。」 「おおまでは、またが、これできまった。」 「おおまでは、またが、これできまった。」 「おおまでは、またが、これできまった。」 「おおまでは、またが、これできまった。」 「おおまでは、またが、これできまった。」 「おおまでは、またが、これできまった。」 「おおまでは、これできまった。」	回針も実置 ・青材信度試験・青材の上らいわけ、単位容積重度・コンクリー ・力を開合度計・セメントかの度皮験・セメントの固度実験・コンクリートの面を対象・表格の質り実験・木材の回着・対象の実験	「加速及び対策」与えられた条件と開催において、合理的な計画を計画し、実験設理 の場所と観察を行い、得られたデータを通知に処理、その成果を図、美に変す技能 を化っつけている。 「単元」を展力を開 「単元」を開かた展示と同じ、選加に思う、判断し、さまざまな条件や機 成上計りを持定が必要がと変数と、変するとなことができる。 「主体的に一学に取り組む検定」 「単一学に取り組む検定」 「単一学に取り組む検定」 「単一学に取り組む検定」 「単一学に取り組む検定」 「単一学に取り組む検定」 「単一学に取り組む検定」 「単一学に取り組む検定」 「単一学に取り組む検定」 「単一学に取り組む検定」 「単一学に取り組む検定」 「単一学に取り組む検定」 「単一学に取り組む検定」 「単一学に取り組む検定」 「単一学 「一一学 「一一学 「一一学 「一一学 「一一学 「一一学 「一一学	0	0	0	12
	定期考査(なし)						
	温度が必要 (本作) (中級人の関係) またまして、おかり物には個人の思りまますもためがからを含むが、あかり物には個人の思りまますもためがからを含むが、あたりがあるがある。 またました (本の人の) またましたました (本の人の) またました (本の人の) またました (本の人の) またました (本の人の) またました (本の人の) またました (本の人の) またました (本の人の) またまました。 (本の人の) またまました。 (本の人の) またままままままままままままままままままままままままままままままままままま	②色布実育 専長・イースの基礎・春色	【知識及び技術】 連絡ペースの作品と書色を選して、安全や無理に起連した空間を実現させるための手 の場合を表現しませない。 を選出しませない。 を選出しませない。 を選出しませない。 を選出しませない。 を選出しませない。 を選出しませない。 には、一点にして、安全を機能に起こした空間を実現させるための手 場合を出し、大きが見間を作成することによって、それぞれの議会件に認定した空 型と物態し、生命している理念を選択できる。 主要指揮でが駆出して影響をありからを達して、建築に関する基準的な技術に関 なるを持ち、意味的に子音に取り組み、合理的な準報環度を工夫する実践的な態度を身 につげている。	0	0	0	12
	定期考査(なし)						
3学期	THE TAX OF	部級上級 ・ 全条質 ・ 多級 ・ の最近最級 ・ の最近 ・ の最近 ・ の最近 ・ の最近 ・ の最近 ・ の最近 ・ のまた。 ・ のまたた。 ・ のまた。 ・ のまた。	TABLE TO THE PROPERTY OF THE P	0	0	0	9
		②材料実習 ・骨材密度試験・骨材のふるいわけ・ 単位容積重量・コンクリートの調合設 計・セメントの強度試験・セメントの 強度試験・セメントの 機度試験・セメントの 統約引張り試験・木材の圧縮計験・ 鉄約引張り試験・木材の圧縮・引張り 試験	Tu面及び状態 ラスとれた条件と環境において、合理的な対策を対策し、実験装置 の保に対しています。 得られたデータと適切に必須し、その成果をは、実にます状態 と思う、物料の、実現が制 [1975] 。 「現のに思う、特別 [1975] 。 「現のによってきる。」となってきる。 現のは、日本的に一学月による世界は、「現すらことのことができる。」 環境は、日本のに一学月による世界によっている。 「現のは、日本のに一学月によっている。」 「現のは、日本のに一学月によっている。」 「現のは、日本のに一学月によっている。」 「日本のに一学月によっている。 「日本のに一学月によっている。 「日本のに一学月によっている。 「日本のに一学月に	0	0	0	9
	定期考査(なし)						
	□ 日本の日本 日本 日	③造形実習 建築バースの基礎・着色	「地震及び対象」 「地震大小の作的と著名を通して、安全や構成に起達した空間を実現させるための手 原名でいる。実現す程度を指定する状態をおにつけている。 「意見力、特別力、現実力を引 「、安全や環境に起こした習慣を実現させるための手 はを考して、大変が発展を検索でしました。また。それでおの基金件に適じした空 原を得るに、大変が取る性能でしまった。としまって、それでおの基金件に適じした空 原を特別し、生活しやすい環境を展現できる。 「主体的に学習と同じませます。」 「主体的に学習と同じませます。」 「主体的に学習と同じませます。」 「表現しまれて、事業のにできまれて、また。」 「表現しまれて、事業のにできまれて、また。」 このけている。	0	0	0	12
	定期考査(なし)						
-							合計
1							105